

令和7年度

「第3次山鹿市男女共同参画計画」の
実施に関する意見書

令和8年3月26日

山鹿市男女共同参画審議会

「第3次山鹿市男女共同参画計画」の実施に関する意見書

「第3次山鹿市男女共同参画計画」に係る令和7年度実施状況について審議しましたので、山鹿市男女共同参画推進条例第18条第3項の規定に基づき、下記のとおり意見書を提出します。

記

重点目標Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進

○市の審議会等における女性登用率の向上

女性登用率の向上のため、引き続き審議会等に関する条例や規則の見直しをしていただくとともに、充て職に依存した委員構成を見直し、女性を積極的に登用できる余地がないか検討していただきたい。市民の多様な意見を適切に反映し政策の質を高めるためにも、全庁一体となって男女等比の審議会の形成に取り組まれることを強く要望します。

○ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発活動

「よかボス企業」がすでに取り組んでいる男性の育児休業取得や女性活躍促進などの具体的な好事例を発信し、山鹿市には働きやすい職場があることの周知を強化してください。市内の「よかボス企業」を増やすことは、若者の人口流出を防ぐとともに、転出した若者が安心して戻って来られる地域づくりにつながります。人材不足の解消及び安定した雇用につながるよう具体的な取組をお願いします。

重点目標Ⅱ 男女共同参画社会実現のための意識づくり、社会基盤の整備

○家庭・地域・職場等あらゆる場面での固定的性別役割分担意識の解消

市民意識調査では固定的性別役割分担意識に「同感しない」市民の割合が上昇した一方で、現実では家庭生活における女性の負担は未だ大きく、地域や職場での潜在的な意識は根強く残っています。女性負担や性別役割分担は、若者の人口流出に直結しており、この流出を食い止め、地域経済とコミュニティーを維持することが、持続的なまちづくりの鍵となります。

山鹿は住みやすい、子育てしやすい、働きやすい、ということを積極的に情報発信し、「住み続けたい」、「帰ってきたい」と思われる「選ばれる山鹿」であり続けるために、意識解消に向けた取組を継続しながらも、慣習等の見直しに踏み込んだ取組を強く要望します。

山鹿市長 早田 順一 様

令和8年3月26日

山鹿市男女共同参画審議会
会長 坂口 里美